

期 日	令和7年10月17日(金) 13:30～		
会 場	釧路センチュリーキャッスルホテル(釧路市大川町2-5)		
日 程	<p>(1) 開会式</p> <p>① 国歌斉唱</p> <p>② 主催者挨拶 北海道公立学校教頭会 副会長 中川 幸治</p> <p>③ 主管者挨拶 釧路市小中学校教頭会 会 長 田崎 博久</p> <p>④ 来賓祝辞 釧路市教育委員会 教育指導参事 本川 敬一 氏</p> <p>⑤ 来賓紹介 釧路市小中学校教頭会 事務局次長 村田 鉄人</p> <p>14:00 (2) 教育講演会</p> <p>① 講師紹介 釧路市小中学校教頭会 副会長 斎藤 貴子</p> <p>・講 師 北海道教育庁釧路市教育局 次長 齊藤 栄三 氏</p> <p>・演 題 「教頭の皆様をお願いしたいこと」</p> <p>② 謝 辞 釧路市小中学校教頭会 副会長 長谷川 充夫</p> <p>15:30 (3) 研究協議</p> <p>① 北海道公立学校教頭会活動方針及び活動報告について</p> <p>・会務報告 副会長 中川 幸治</p> <p>・要請活動報告 副会長 中川 幸治</p> <p>・会計中間報告 組織部 中島 大輔</p> <p>・研修部報告 研修部 道佛 智志</p> <p>・組織部報告 組織部 中島 大輔</p> <p>・調査部報告 調査部 丸山 浩太</p> <p>・広報部報告 広報部 田中 敏貴</p> <p>② 各地区の活動方針及び活動報告について</p> <p>・十勝管内小中学校教頭会 事務局長 本間 幸信</p> <p>・帯広市教頭会 事務局次長 芹澤 拓哉</p> <p>・オホーツク管内教頭会 事務局長 佐藤 美芸</p> <p>・根室管内教頭会 事務局長 福井 啓二</p> <p>・釧路小中学校教頭会 事務局長 井上 哲平</p> <p>・釧路市小中学校教頭会 事務局長 池 理砂</p> <p>③ 質疑応答・協議</p> <p>(4) 閉会式</p> <p>① 主管者挨拶 釧路市小中学校教頭会 会長 田崎 博久</p>		
参加人数	<p>○ 来賓・講師 5名</p> <p>○ 北海道公立学校教頭会 5名</p> <p>中川 幸治(副会長)、道佛 智志(研修部長)、丸山 浩太(調査部員)、</p> <p>田中 敏貴(広報部副部長)、中島 大輔(組織部長)</p> <p>○ 釧路市小中学校教頭会 16名</p> <p>○ 釧路小中学校教頭会 5名</p> <p>○ 根室管内教頭会 8名</p> <p>○ オホーツク管内教頭会 4名</p> <p>○ 十勝管内小中学校教頭会 10名</p> <p>○ 帯広市教頭会 7名</p> <p>計 60名</p>		
その他	<p>○ 講演は、「教頭の皆様をお願いしたいこと」と題し、法律上の教頭の位置づけや北海道における教員養成指標等を基に、「校長と教職員を具体と抽象でつなぐ存在」として、「双方向の報連相」「客観性を基にした検証改善サイクル」「他校との事例共有」を進めることを、ご自身の経験を交えながら強調されていた。また、「未来の校長」として求められることを、アンケートや「北海道アクションプラン」、北海道内の学校事例等を示しながら、「腹落ち」「他人目線」「リスク管理」の三つのキーワードから説明されていた。講演の中では、会場参加者の小交流を取り入れる等して、実感的な理解を促していた。</p> <p>○ 各地区教頭会からの報告により、それぞれの活動状況について確認できた。</p> <p>○ 役職定年を迎えた校長が教頭職に就いた際の、教頭会の参加の在り方について質問があり、各地区での現状を交流することができた。</p>		

